

・標的病変: Seg2 透瞭像を伴う 99%狭窄

・ システム: TFI, 8Fr. JR4

Rota 2.0mm が通過せず、Rota 1.5mm へサイズダウンして debulking 施行

しかし Cypher 3.5mm が通過せず

POBA 2.0mm

POBA 3.0mm

その後も Cypher 3.5mm が通過せず

Rota 2.0mm へサイズアップ

(5 in 6 を併用) Cypher 3.5mm を留置

強い石灰化を伴う透析患者の狭窄はしっかり debulking しないとステントのみでは拡張不十分で終了する可能性がある。またデバイスの通過も極めて困難な状況に成りうる。従って Rota のない施設では当患者のような症例は、可能な施設に紹介することが望ましいと思われる。Rota のない施設において PCI が避けられない場合は、5 in 6、バディワイヤーなどを駆使して施行するしかないと思われる。ガイディングなどのシステムの選択も重要となる。